会長		担当理事		会計	

埼医業Ⅱ第１７４１号
令和３年１２月１５日

郡市・大学医師会長　　殿

埼玉県医師会長　金　井　忠　男

「日本地域包括ケア学会第３回大会」の開催について（周知依頼）

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

標記の件について、日本医師会から別紙（写）のとおり通知がありました。

つきましては、貴会におかれましてもご了知いただき、会員への周知方にご高配下さいますようお願い申し上げます。

担当：埼玉県医師会　業務Ⅱ課（森田）
TEL：０４８－８２４－２６１１
FAX：０４８－８２２－８５１５
E-mail:morita@office.saitama.med.or.jp

春加八潮医師会
収受
3.12.17
第 1013 号

写

日医発第739号(介133)
令和3年12月14日

都道府県医師会長　殿

日本医師会長
中川俊男
(公印省略)

「日本地域包括ケア学会　第3回大会」
の開催について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記大会を日本地域包括ケア学会との共催で開催することとなりましたのでご案内申し上げます。大会当日は、医療・介護関係職種等を対象に、日本地域包括ケア学会の副理事長を務める松田晋哉先生の基調講演のほか、2つのシンポジウムが行われる予定です。

なお、今回も、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン形式での開催となります。申込み方法等詳細につきましては添付の大会チラシまたは学会ホームページをご確認ください。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、郡市区医師会および会員への周知方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

記

日　　時：令和4年3月20日（日）13：30～17：15
開催形式：オンライン開催【ZOOMウェビナー】
プログラム・申込み方法等：大会チラシまたは学会ホームページをご確認ください。
日本地域包括ケア学会ホームページ：http://chiikihokatsucare.com/
そ の 他：本大会にご参加の先生は日医生涯教育制度CC（8.12.13）、3単位が取得できます（※「ZOOMウェビナー」で当日のログの記録が確認できる場合、且つご申請をいただいた場合、後日、学会事務局より参加証を郵送予定です）。

以上

第3回大会 日本地域包括ケア学会

ZOOM オンライン開催

2022/3/20 (Sun)

13:30-17:15
START END

～感染症や大規模災害に備えるために 地域包括ケアシステムを活用する～

開会セレモニー（13：30）

基調講演
（13：40）　コロナ禍を踏まえた地域包括ケアシステムと地域医療構想のあり方について
松田　晋哉 氏（日本地域包括ケア学会副理事長）
座　長
田中　　滋 氏（日本地域包括ケア学会理事長）

シンポジウム①
（14：50）　コロナ禍における地域包括ケア～医療の観点から～
座　長
鈴木　邦彦 氏（日本地域包括ケア学会事務局長）
シンポジスト
松井　道宣 氏（京都府医師会会長）
田母神裕美 氏（日本看護協会常任理事）
新田　國夫 氏（日本在宅ケアアライアンス理事長）
草場　鉄周 氏（日本プライマリケア連合学会理事長）

シンポジウム②
（16：00）　コロナ禍における地域包括ケア～介護の観点から～
座　長
松田　晋哉 氏（日本地域包括ケア学会副理事長）
シンポジスト
西澤　寛俊 氏（日本社会医療法人協議会会長）
大河内二郎 氏（全国老人保健施設協会常務理事）
峯田　幸悦 氏（山形県老人福祉施設協議会会長）
香取　　幹 氏（株式会社やさしい手代表取締役社長）
指定発言
鈴木　邦彦 氏（日本地域包括ケア学会事務局長）
総　評
松田　晋哉 氏（日本地域包括ケア学会副理事長）

閉会セレモニー（17：15）

●学会参加費：1,000円（手数料・税込）

●本学会は感染症予防、防止のため、ZOOMを使用したオンライン形式となります。
お申込み方法につきましては裏面をご覧ください。

お問合せ
日本地域包括ケア学会運営事務局
医療法人博仁会志村大宮病院内
TEL.０２９５-５３-２１７０

主催：日本地域包括ケア学会
共催：公益社団法人　日本医師会

ZOOM オンライン開催

第3回大会 日本地域包括ケア学会

～感染症や大規模災害に備えるために地域包括ケアシステムを活用する～

2022/3/20（Sun）13:30-17:15

お申込み

下記 URL または記載の QR コードからお申込みください。
※受講者 1 名ごとに個別にお申込みください。

申込専用 URL
https://peatix.com/event/3090185

受付締切は
令和 4 年
3 月 10 日
です

Peatix

お申込みは Peatix サイトにて受け付けております。
Peatix でのお申込みには Peatix アカウント登録が必要になります。また参加費のお支払いはクレジットカードやコンビニエンスストアでの支払いとなります。
詳細は Peatix サイトにてご確認ください。

基調講演 「コロナ禍を踏まえた地域包括ケアシステムと地域医療構想のあり方について」

新型コロナウィルス感染症の拡大時には、医療機関の入院機能が有効に機能せず、全国各地で感染者の受入れに混乱が生じた。新型コロナの経験をもとに、今後日本の医療提供体制はどのように変化をしていく必要があるのか。また地域包括ケアシステムや地域医療構想はどのように進めていけばいいのかを、基調講演を通して明らかにしていく。

シンポジウム① 「コロナ禍における地域包括ケア～医療の視点から～」

新型コロナウィルス感染症の第 5 波では全国の新規感染者が最大 26,000 人を超え、医療機関の入院受け入れが困難となり、宿泊療養や自宅療養での待機中に亡くなる感染者を出すことになった。本シンポジウムでは、医療機関のキャパシティを超える新型コロナウィルスの感染拡大時にどのような対応を行い、地域包括ケアシステムはどのように活用されたのか、シンポジウムを通して検証をしていく。

シンポジウム② 「コロナ禍における地域包括ケア～介護の視点から～」

新型コロナウィルスの感染拡大期には全国の介護施設内でクラスターが発生し、感染した要介護高齢者を介護施設内で治療をしなければならない状況が発生した。また認知症高齢者を多く抱える介護施設では感染症対策としてのゾーンニングが機能しないといった課題も露見することになった。介護施設や高齢者の住まい、在宅での感染症対策はどのように行われていたのか。また感染症や大規模災害対策として義務化された業務継続計画（ＢＣＰ）は有効に機能するのか。感染症や大規模災害への対応策を先進事例を参考に検証をしていく。

★本大会は日本医師会生涯教育講座に認定されております。

「ZOOM ウェビナー」で当日のログの記録が確認できる場合、且つご申請をいただいた場合、日医生涯教育 CC（8.12.13）、3 単位が取得できます。　後日、事務局より参加証を郵送いたします。

医師以外の職種で受講証明証をご希望の方は、学会視聴後にお送りするアンケートにお答えいただき、申請をいただいた場合、受講証明書を郵送いたします。

●学会に関するお問合せ：日本地域包括ケア学会運営事務局　０２９５－５３－２１７０